

## お知らせ

- 前東京大司教区、ペトロ岡田武夫名誉大司教は12月18日（金）午後帰天されました。永遠の安息をお祈りください。詳細は掲示しています。
- ミサ献金はミサ中に集めずに、聖堂入口の献金箱に各自入れるようになりました。わたしたちから神さまへの奉獻です。忘れないようにしましょう。コロナ感染予防の一環として変更されました。今後はこのかたちでミサ献金を集めます
- 今年の待降節、降誕節のミサ予定表をお取りください。なお、状況により変更や非公開のミサになる可能性があります。
- コロナ禍で検温・手指消毒・連絡先記入・三密を避けることなど感染症予防対策が前提でミサを公開しています。これが守られない場合はミサができませんので、ご協力をお願いします。  
小郡教会では「三密」を避けるために日曜日のミサ参加を二つのグループに分けています。  
**第1グループ**：西鉄大牟田線西側（教会側）  
**第2グループ**：西鉄大牟田線東側（大刀洗側）  
他のグループの日は参加できません。また、他の教会のミサ参加も当分の間、自粛してください。

主任司祭より

早いもので今年も最後の月になりました。教会の暦では11月29日から新しい年、待降節が始まっています。

新しい年もまた神さまの救いのみわざを黙想し、体験しながら過ごしてまいりましょう。

今年はコロナ禍にあって、いろんな制限が余儀なくされました。思い返せば「四旬節」に入った途端に新型コロナウイルスの波が押し寄せてきました。聖週間や復活節も皆んな集まって祝うこともできませんでした。寒くなって感染も広がっているようで、今年のクリスマスもどのようになるか予断が許されない状況です。

皆さんにとって、どのような一年でしたでしょうか。教会に集うこともままなりませんでしたが、それぞれの生活の場でウイルス対策をしながら信仰の見直しもできたと思います。今年のクリスマスは静かな、そして寂しい時になるかもしれません。

でも、救い主はひっそりとお生まれになられたことを考えると、今年は本来のクリスマスになるのかもしれませんが。わたしたち一人一人の心の中に生まれ、そして復活されて今も一緒に生きておられる「主」を思い、それぞれの場でわたしたちの主の誕生を祝いましょう。

★ 12月まで小郡教会での主日のミサは11時開始です。前晚土曜日の主日ミサは毎週19時30分からです。

★ 今まで「ニケア・コンスタンチノープル信条」をお知らせの裏にプリントして使っていましたが、今回から聖堂入口に準備しているカードをお使いください。お使いになったカードは元に返さず、個人用としてお持ち帰りください。ウイルス感染予防のためです。ミサの度にお持ちください。

持参するのを忘れて別のものを使う場合も元に返さずお持ち帰りください。

★ 祈りのカードも増刷しています。  
お取りください。

★ 司式司祭の福音朗読の直後、説教の前に短い沈黙の時間をとります。その日のみ言葉（第一朗読、第二朗読、福音朗読）を振り返り、心に留まった言葉を味わうため。聖体拝領後の沈黙の時間も同様です。その日に心に響いたみ言葉を黙想しましょう。

★ カテドラル（司教座聖堂）の12月24日（木）20時の降誕祭夜半のミサ（ヨゼフ・アベイヤ司教主司式）はインターネット中継されます。福岡教区・小郡・鳥栖教会のホームページから参加することができます。

なお、11月15日、16日にアベイヤ司教様が小郡教会を訪問された際の主日のミサ、ミサ後のお話し、平和講演の様子を小郡教会のホームページで見ることができます。トップページの「ミサ中継はこちらから」をクリックしてください。わたした

## フランシスコ教皇のことば

飢え渴く人、着るものがない人、病気の人、国を離れざるを得なかった人、刑務所にいる人など多くの人々が目に見えず気づかれないでいます。すべての人、特にこのような人たちの基本的人権が尊重されるように、わたしたちは勇気と決意を持って貢献していくよう求められています（マタイ25・35-36）。

12月11日 ツイート